



くさばな しんぶん

2021年6月号

令和3年

6月1日発行

通算第301号

【おにぎり散歩を行いました】

5月は、各学年でおにぎり散歩を計画しました。おにぎり散歩は、普段の散歩では時間の制約があていけな目的地に行ったり、行った先で十分に遊んだりできるようにすることを目的として毎年行われています。また、基本的には歩いて行くことが前提となっていて、お子さまの歩行力の強化も考え計画しています。例年は、西多摩公園や、秋川の大塚原は公園、羽村の堰、秋留台公園などへ行っていました。コロナウィルスにより昨年以降、園外へ散歩で出る機会も少なくなり、歩くことに慣れていないため、今年度は、年長児が「羽村市の堰下レクリエーション広場」、年中児が「福生市の多摩川中央公園」、年少児が「草花公園」を目的地として計画しました。また、緊急事態宣言により市によっては、公園内での飲食ができないという通告があったため、目的地で遊び、園バスにて園に戻り、園でおにぎりを食べるという内容に変更しました。当日は雨のため年長児は花蔵院、年少児は幼稚園で過ごしましたが、普段とは違った環境や雰囲気を楽しんでいるように思いました。また、年中児は天気恵まれ、福生のロケット公園から多摩川中央公園まで歩きました。とても暑い日でしたが、途中で木陰に入り水分補給をしながら最後まで歩き切り、公園の土手で土手滑りを楽しんだ後、園に戻りおにぎりを食べました。学年により内容は違いましたが、いつもと違う雰囲気の中でお家の方が用意してくれたおにぎりを食べ、楽しい時間を過ごしました。



保護者の皆さまには、朝早くからおにぎりのご用意をいただきありがとうございます。次回は10月に予定しています。その頃にはお子さまの体力、歩行力もつき、たくさん歩けるようになっていきたいと思いますので、またおいしいおにぎりのご用意をお願いいたします。

【誕生会の動画配信を行いました】

一昨年度までの誕生会では、誕生児の保護者の方以外の皆さまにもお出でいただき、誕生児のお祝いを一緒にしていただくのと同時に、お子さまの園の様子をご観いただく機会となっていました。昨年から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、誕生会の参観をご遠慮いただいております。しかしながら、今後この状況が急に良くなることは考え難く、どうか保護者の皆さまに園の様子をお伝え出来ないものと職員で考え、誕生会のライブ配信を行うことにしました。

しかし、物事の多くを視覚で認識するお子さまたちにとって、ホールに保護者の姿がないのに自分の行動が見られていて、知られているという不思議な現象をお子さまたちが理解して、受け入れられるのか？見られたくない場面を知らないところで見られてしまうことがお子さまたちにとって果たして良い事なのか？年齢が下がるほど、カメラの向こうでお家の人が見ているということが理解できない分、そうしたことが懸念材料としてありました。ですが、実際に配信してみると、カメラに向かって手を振ったり、クラスの遊戯をとても良い表情で行っていたりして、本当に目の前でお家の人が見ているような雰囲気や誕生会が進められました。コロナ終息までの間、誕生会に限っての動画配信となりますが、少しでもお家の方に園の様子が伝われば嬉しく思います。

なお、今後もちろんアプリにて誕生会視聴に必要なURLを送りますが、限定配信とはいえ個人情報保護の観点から、取り扱いにはくれぐれもご注意ください、ご家庭にてお楽しみいただきたいと思います。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

園長 影山 幸江

【宣言の延長】

きょうから6月に入りました。そして緊急宣言は20日まで延長されました。感染者数の動きを見たと上の政府の判断でしようからそれなりの根拠があるのだと思います。しかし、幼稚園としては少々(あるいは大いに)げんやりの気分です。どこまで続くのかみそ。

目標が見えないことや、宣言に伴う規制のありかたがよく理解できないことがもどかしく感じられます。宣言が延長されたにもかかわらず、百貨店や映画館や博物館などへの「自主規制の要請」が、きょうから「緩和」されたりと、報道に接するたびに自分の頭の中がクラクラします。

一方、アジアでの感染の拡大が懸念されています。インドが典型的であるようですが、ノーベル賞受賞者である山中伸弥先生がとなした「ファクター-X」について、疑問が呈されています。「ファクター-X」とはアメリカやヨーロッパに比べてアジアでの流行が少ないのは、アジア人特有の「何か(X)」があるのではないかと、という問題意識のことです。タイ、台湾、韓国など、そして日本も確かにアメリカやヨーロッパに比べてはるかに少ない感染者数です。

しかしこれについては、アジアは比較的高温多湿であること、国どうしの国境線が短いこと、島国が多いこと、これらがもたらした偶然ではないのか、アジア人に何か特別なコロナ対抗因子が備わっているわけではないのではないかと、という説も出ています。だから日本は特別だと考えてはいけなというのです。

もちろん私にこの議論の正誤を判断する力はありません。でも、この議論も含めて、結局は、何が正しいのか分からない、でも「自粛」を「要請される」ということや、「緊急事態宣言の延長」ということでの「緩和」措置など、コトバの矛盾の中を泳がされている不安定感が拭えないのです。

ところで、あきる野市でもワクチン接種が高齢者から始まっています。従来型の病原菌をなんらかの方法で薄めて接種して免疫をつくるという仕組みではない、新しいタイプのワクチンだそう。私ばかりではなく多くのママの希望としては、これによってかつての日常生活が戻れるといいな、どこへでも旅行に行ければいいな、幼稚園や保育園や学校もかつての賑やかな集団生活ができるようになればいいな、と願っていると思います。

しかし、それでもこのワクチンについては時間的検証がされないこと、国家間の戦略の武器になっていることや、途上国も含めた平等性に欠けること、単に医学的見地ばかりではない様々な複雑な因子がまわりついで、あまり気持ちよくない様相を呈しています。でも、私自身はといえば、いろいろ考えた上で、先日第1回目の接種を受けました。言うなれば、自身の立場を考えて、ということでしょうか。このあたりは複雑な心境です。政府も公式には、「受ける受けないは個人の判断に任されている」という基本方針です。そうしたことも考慮にいたした上で、私は受けることにしました。と個人のことによって過ぎません。どのような社会的立場にいる人によ、ワクチンを受けないことによっても非難されることがあってはならない。これは日本社会を構成して行く上でとても大切なことではないかと、思っています。

理事長 山城 清邦

親子で運動遊び

今月の運動遊び

どっこい・せ!

運動方法：背中合わせて立ちしゃがみをおこなう 運動の種類：移動系、操作系 運動の効果：脚力、バランス力、協応性



1 背中合わせてしゃがみ、両腕を組む。

*この時「背中をびったんこだよ!」などの言葉かけをすると分かりやすいです。



2 『どっこい』『せ!』で背中同士を押し合いながら、仲良く一緒に立ち上がる。

3 立ち上がった後、息を合わせてしゃがむ。

* 2と3を繰り返す。



保護者会便り

6月はかわ1組担任の神谷先生、かわ2組の島貫先生にインタビューをお願いしました。只今保護者会では夕涼み会の準備を進めております。楽しい会になるよう頑張りますので、よろしく願い致します。

保護者会役員一同

かわ1くみ

神谷先生

Q.子供の頃に好きだった遊び・物はなんですか？

外ではよくマンホールを使って「まるふみ」をしていました。弟が2人いることもあり、ペイブレードで遊ぶのが好きだった記憶があります…(へ)☆



Q.幼稚園の好きな給食はなんですか？

どれもおいしくて迷いどころですが…豚汁、すいとん、けんちん汁などの汁物が特に大好きです♡



Q.コロナが終息したら1番にしたいことはなんですか？

鎌倉や川越で食べ歩きがしたいです!!あとカラオケも好きなので、気兼ねなく行きたいです!

かわ2くみ

島貫先生

Q.子供の頃に好きだった遊び・物はなんですか？

泥だご作りが大好きでした。指を怪我して、包帯ぐるぐるでもやるくらい大好きでした。



Q.幼稚園の好きな給食はなんですか？

うどん全部です。優しい味付けで大好きです。



Q.コロナが終息したら1番にしたいことはなんですか？

海外旅行に行きたいです。今、1番行きたい国はスイスです。

+++++ 神谷先生、島貫先生ご協力ありがとうございました! +++++